

最先端AI、世界を変えるか? (ChatGPT)

2023年2月

一般社団法人 セカンドライフファクトリー



walinwa

ChatGPTに関する最近のニュース

- Microsoftが数年で数十億ドルを投資すると発表。創業以来最大規模で 最大100億ドル(2023年1月23日)
 (既に2019年に10億ドルを投資済)
- ・2023年1月にスタンフォード大で試験などにChatGPTが使用されてまくり 困惑。対策に追われている。
- ・急激な立ち上がり(ユーザー数)
 100万ユーザー数に達成するまでに日数(5日)
 2カ月(2023年1月末)で1億人を突破。



参考)人間が入力したキーワード(プロント、日本では一部で"呪文"と言われる)を元に文章・画像・コードを生成したり 会話するテクノロジーをジェネレーティブAI(生成系AI)と言う。 これらのAIを使用した職業が生まれている。→プロンプト・エンジニア(prompt Engineer) 有効にAIを活用するためにはプロンプトとして何を入力するかが非常に重要である。"AIアーチスト"とも言われる。

参考例) 驚異のAI ChatGPT (Youtube)

https://www.youtube.com/watch?v=r4JAjYo4xVk&ab_channel=%E3%83%86%E3%83%AC%E6%9D%B1BIZ

ChatGPTとは(1)

 OpenAI(サンフランシスコ)が開発、2022年11月に公開(試験版、無料)
 OpenAI:2015年にサム・アルトマン氏(Y Combinatorの前プレジデント)、イリヤ・スツケヴェル氏(元Google リサーチサイエンティスト)、イーロン・マスク氏(Tesla、SpaceX、TwitterのCEO)らによって設立された人工知能を 研究する非営利団体の研究所。昨年に画像生成AI「DALL-E2」、対話型AI「ChatGPT」の提供を開始。自然な言葉に よる指示や対話からAIが生成する質の高いコンテンツが話題になり、中でもChatGPTはGoogleが大きなシェアを 占める今日のインターネット検索に代わる情報収集の方法になる可能性が指摘されている。

・GPTは「generative pre-trained transformer」の略で、何千億個ものパラメータを用いた文章 生成言語モデルを指す。

- ・ChatGPTはチャットアプリケーションサービスである。どんなテーマの会話もできる。
- Googleが独占してる検索エンジンシェアー(約90%)を破壊する可能性が有る。
 "Bing"への搭載を検討中
- ・MBAの最終試験で合格点!

ペンシルバニア大学ウォートンスクールにいるクリスチャン・ターウィッシュ教授はChatGPTの学力を図るべく、 経営学修士課程(MBA)の最終試験を受けさせてみました。すると、見事合格点をとったそうです。

・大学生レベルの自由記述試験や経営学修士課程(MBA)の最終試験で合格点 ChatGPTが書いた論文の要旨を研究者は見抜けないと指摘されたりと、文章生成能力の高さが話題になっています。 2023年1月に新たに報告された内容では、ChatGPTがロースクール生用の選択肢問題と小論文を合わせた試験に 繰り返し挑戦したところ、ChatGPTは全ての試験で合格点を獲得したことが示されています。

ChatGPTとは(2)

ChatGPTはDeeplearning(教師あり学習、強化学習)を使用して回答する。
 Amazonの"アレクサ"Appleの"Siri"との違い

上記は音声対話、ChatGPTはテキスト対話でより抽象的、感情的な対話が可能 (対話して自身の間違いを認識したり、人の気持ちになって回答することができる。)

・"Edge","Chrome"などのブラウザーと何が違うか?

ブラーザーは回答(欲しい情報)を検索結果のたくさんのネット情報から自分で探さなければならない ChatGPTは直接回答してくれる。



ChatGPT で出来ること

ChatGPT で出来ること(一覧) なんでもできる!

1.質問の回答 2.情報の検索的使い方 3.コードのデバッグ(バグを見つけてもらう) 4.プログラミング(コードの生成) 5.プログラミング言語のソースコード解説 6.文章の要約 7.文章の添削(英文の添削など) 8.スケジュール作成 **9.文章の翻訳** 10.ダイエットメニューやレシピの作成 11.文章のニュアンス理解 12.イベントテーマから企画の概要を作成 13.レポート文やブロク記事の作成 14.学習ロードマップの作成 15.歌詞の作成 16.名称生成 17.パスワードの生成 **18.記事構成を作成** 19.断りの文の生成 20.存在しない小説の作成

21.物語のあらすじ生成
22.英語と日本語の例文リストの作成
23.ある都市のおすすめの食べ物の作成
24.人生相談
25.占い
26.日付計算
27.AIアートのプロンプトを作成
28.ディベートさせて論点を洗い出す
29.口調を変更してチャットを行う
30.Mermaid記法の生成(フローチャート作成)
31.質問の作成

ChatGPT のアカウントの登録方法(1)



ChatGPT のアカウントの登録方法(2)



ChatGPT の利用方法(無料)



Youtube要約(1)

何かを学びたい時、何かについての詳しい情報を知りたい時、Youtubeは非常に有効な ツールです。

YouTubeには「ニワトリの育て方」だろうが「ログハウスの建て方」だろうが「デイトレードの 始め方」だろうが、ありとあらゆるチュートリアル・解説動画がアップロードされており、誰で も無料で見ることができる。

しかし、YouTubeを使った学習にはいくつか欠点がある。たとえば、動画は紙の本と違い、 大事なところだけを飛ばし読みするといった使い方が難しい。(見たい箇所だけを見ること ができない。)分野によるが、日本語以外の言語、特に英語を使った動画が多いのも YouTubeの特徴だ。

もちろん日本語同様に英語もリスニングできる人なら問題ないが、そうでない場合は字幕 に頼ることになる。だが、多くは英語の字幕、およびそれを元に作成した自動翻訳字幕に 頼ることになる。自動翻訳の精度は初期に比べると改善されてきたとは言え、まだスムー ズな日本語とは程遠い。

→安心してください ChatGPTが解決します。

Youtube要約(2) Chrome拡張機能の追加方法



Youtube要約(3) 使い方



Youtube要約(4) 使い方(外国語Youtube)

外国語のYoutubeも数多くある。しかし外国語が分からないからと見る人は少ない。もったいないことである。



ChatGPT対話例





ChatGPT対話例 一般の人は信用取引は危険と思っているが本当か?何故そう思うのか? NA \$ 一般の人が信用取引を危険と考えることはありますが、これは実際の危険性とは必ずしも一致しない場 合があります。 信用取引はリスクとリターンのバランスが重要です。リスクを理解し、適切なリスク管理を行うことで、安全 に信用取引を行うことができます。 一般の人が信用取引を危険と考える理由は様々ですが、以下が一般的なものです: 1. 情報不足:信用取引に関する情報不足や知識不足がある場合、リスクを正確に把握することが困難 です。 2. 誤った情報: 誤った情報に基づいて投資する可能性があります。 3. 不正な投資:不正な投資に騙される可能性があります。 4. リスクの理解不足:信用取引のリスクを正確に理解していない場合、リスクに対する警戒心が高まりま す。 これらの原因を克服するためには、信用取引に関する情報や知識を学ぶこと、冷静な判断力を持つこと、 専門家やアドバイザーなどからの投資アドバイスを参考にすることが大切です。

ChatGPT対話例

投資にテクニカル分析があるが、後追いの分析と思われるので必要ないと考えるがあなたはどう思います か? \$ テクニカル分析は、過去の株価や取引量などのデータを分析して、将来の株価の動向を予測するための投 資戦略の一つです。 一部の投資家は、テクニカル分析は後追いの分析であり、未来の株価の動向を正確に予測することがで きないと考えています。 しかし、他の多くの投資家は、テクニカル分析が有用であり、株価のトレンドを把握し、判断力を高めること ができると考えています。

> 私は、テクニカル分析は有用な投資ツールであり、投資戦略に含めることができると考えますが、唯一の投 資戦略として使用するのではなく、他の要因も考慮することが重要です。例えば、企業の財務状況や業 界動向なども重要な要因となります。



